



(No.36)

2023年4月20日発行  
長野工業高等専門学校同窓会  
〒381-8550 長野市徳間 716  
TEL 026-295-7103  
<https://nnct-doso.net/>

## 名誉会長就任にあたって

長野工業高等専門学校校長 江崎 尚和

卒業生の皆様には、日頃より長野高専の教育や運営に熱いご支援を頂いておりますこと心より感謝申し上げます。

令和4年4月に長野高専校長に着任を致しましたが、同時に長野高専同窓会の名誉会長をお引き受けすることとなりました。実は、私自身も高専の出身で、昭和52年3月に鈴鹿高専を卒業しております。高専生として学生時代を過ごした後、編入で全国から集まった高専生と一緒に創設期の豊橋技術科学大学で学び、また、同大学の教員として高専卒業生の教育や研究指導に携わりました。その後、母校の鈴鹿高専の教員を経て、福岡県の有明高専の校長を3年間務めた後の着任となります。私自身が鈴鹿高専に入学して以来、50年以上を高専そして高専生の教育にかかわり続けて現在に至っています。



高専制度は昭和37年に創設され、昨年度でちょうど60年を迎えました。したがって、2期校であります長野高専は今年度が記念すべき創立60周年を迎える年となります。創立以来、長野高専から世に送り出した卒業生は令和4年度までで、本科卒業生9287名、専攻科（他校出身者を含む）修了生503名となりました。卒業生の皆様の活躍のおかげで、現在でも本校卒業予定者は産業界から高い評価と極めて多くの求人を頂いております。今後も、卒業生の皆様に築き上げて頂いた伝統をベースに、更なる教育の高度化ならびに教育体制の改善向上に取り組んでゆく所存でございますので、皆様の一層のご支援をよろしくお願い申し上げます。

最後に、皆様のご健勝とご活躍を心よりお祈り致しますとともに、同窓会の益々のご発展を期待いたしまして名誉会長就任のご挨拶とさせていただきます。

## しもいな法律事務所

弁護士 元島 亮典（長野県弁護士会所属）

電子情報工学科 平成19年3月卒業

注力分野：消費者、刑事、債務整理、相続など

〒399-3103 長野県下伊那郡高森町下市田 326-1 ダイナテナント3階

TEL:0265-48-6545 FAX:0265-48-6546

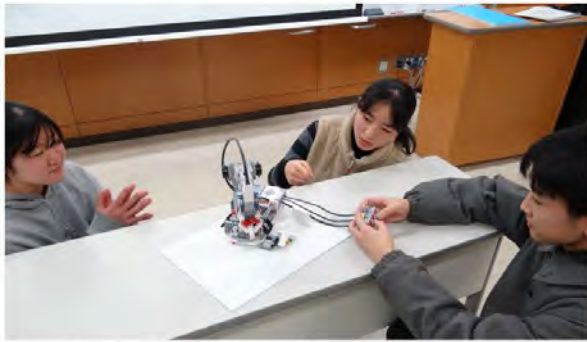
HP: <https://shimoina.com/>



# 長野高専「工学科」への再編について

長野高専・工学科・機械ロボティクス系 25期機械工学科 北山 光也

長野高専は令和4年4月に従来の機械工学科、電気電子工学科、電子制御工学科、電子情報工学科、環境都市工学科の5学科から工学科の1学科3系（情報エレクトロニクス系（IE）、機械ロボティクス系（MR）、都市デザイン系（CE））に学科改組を行いました。これまでは、各学科40名定員で入試を行っていましたが、令和4年4月の入学生からは、系の区別を行わず募集定員200名で入試を行いました。入学した1年生は、「ものづくり基礎工学」、「ものづくり基礎実験」の各専門分野の基礎科目の学び、3回の希望調査を行い、2年生からの主専攻（3つの系から1つ）を選択しました。



機械ロボティクス系1年生のものづくり体験でのロボット製作

また、これまでの一般科は、リベラルアーツ教育院（LA）となり、より充実した教養教育、グローバル化への対応が行われています。

また、これまでの一般科は、リベラルアーツ教育院（LA）となり、より充実した教養教育、グローバル化への対応が行われています。

令和5年4月には、工学科2期生203名が入学し、工学科1期生は2年生に進級しました。2年生では、各系の専門科目の授業（IE：電気回路、論理回路等、MR：工作学、設計製図等、CE：測量学、構造力学等）が行われるとともに、分野横断の専門科目「エンジンリングデザイン入門」も行われます。また、11月には台湾への研修旅行も予定されています。

昨年度から第2体育館へのボルダリング設備の導入が準備されてきました。4月より運用されています。安全講習会を受講し学生が放課後などに訪れて使用されています。

これからも同窓会だよりでは、新しい長野高専への移り変わりについて発信を行いますので、母校の後輩たちを暖かく見守りください。



機械ロボティクス系2年生の測定器実習授業



第2体育館にできたボルダリング練習施設

**ユウワは微細精密な金型技術で  
グローバルにはばたきます。**

友華精密電子(吳江)有限公司(中国)

YUWA VIETNAM CO.,LTD(ベトナム)  
第1工場 金型工場

YUWA VIETNAM CO.,LTD(ベトナム)  
第2工場 成形工場

株式会社ユウワは、日々進化するスマートフォン、タブレット端末などで使用される、コネクタ部品、カメラ部品、液晶部品、自動車、医療などの微細精密モールド部品を手掛けています。

高度な金型技術を武器に、広い分野でグローバルに貢献します。

**株式会社ユウワ**

本社・成形工場・金型技術センター

〒384-0044 長野県小諸市西原700番地1 TEL0267-25-8001 FAX0267-25-8011 <http://www.yuwa-net.co.jp/>

## 第4回長野高専同窓会中部支部総会開催

12期 電気工学科 小林活彦

2022年11月12日（土）名古屋市中区の「中国菜館 桃の花」にて開催された。

長野高専同窓会中部支部は 2019年に発足したものの翌年からの新型コロナ感染拡大防止措置のため2020年度、2021年度はスティホーム開催となり、懇親の場は持てずに終わりました。2022年度においては、まだ感染流行は完全におさまってはいなかったものの、少人数に区切って、マスク会食をするなど対策をしっかりとりしながら、愛知県新型コロナ対策認定店を選定して行うことができました。

3年ぶりの会の開催に、1期生の方は前日から知多半島へ宿泊し、大盛況な同期会を実施した後、本総会へも出席していただきました。総会では1期生から44期生までの幅広い年齢層で、先生の話や学び舎、学生寮の話など、共通点を見つけて年代の垣根を超えた交流ができ、親睦を深めることができました。来年度以降も、更に広く会員にお声がけし、懇親の輪を広げていく所存です。



地域の皆様にご愛顧頂きおかげさまで創業100周年



《上位認証》  
アドバンスプラス  
を認証



採用特設  
サイト



- 業務内容、採用条件
- 福利厚生 ● 社内スタッフ
- 業務紹介動画 等 公開中

**小木曾建設株式会社**

飯田市座光寺6663番地5 TEL. 0265-35-2052

<https://www.ogiken.co.jp/>

会社見学随時対応可能



**SDGs**

REGISTERED PARTNER  
NAGANO PREFECTURAL  
GOVERNMENT



インスタでも  
情報発信中



## 電子情報工学科棟の改修

長野高専・工学科・情報エレクトロニクス系長 29期電気工学科 春日 貴志

電子情報工学科棟はH3年（1991年）に竣工されてから築30年が経過し、設備のリニューアルを目的として2022年度に電子情報工学科棟の全面改修が行われ、2023年2月末に竣工しました。主な特徴は、定員90名の共通教室が2部屋新設されました。長野高専は2022年度から学科の再編が行われており、現1,2年生が工学科の学生です。2年生から3系に分かれて専門授業を学びます。学科再編の中心は、エンジニアとして幅広い知識を習得するために、各系の専門科目を深く掘り下げる主専攻と、他の系の学習内容を幅広く学ぶ副専攻を、両方取得することです。学びの多様化の中で、大人数授業を行うケースが増えるため、定員が多い教室の確保が急務でした。これまで、電子情報工学科棟の5階にある100番教室と、図書館にあるゼミ室のみでしたが、共通教室が2部屋増えたことで大人数での授業が可能になりました。

また、省エネ化のために全館LED照明になり、空調設備も全ての部屋で整備されました。学生が普段自由に使えるオープンスペースも2部屋用意され、学生が快適に学べる環境が整備できたと思います。同窓会の総会の折に、見学会を実施したと思いますのでご参加いただければ幸いです。



5階ホール



改修の終了した電子情報工学科棟



200名を収容できる100番教室



講義室（共通教室）



オープンスペース

舗装工事・土木一般工事

ASPEC

株式会社アスペック

当社社長は長野高専OBです！！

本社 〒381-2207 長野市大橋南二丁目15番地  
TEL:026-283-2051 FAX:026-284-8699

土木部 〒381-0024 長野市大字南長池478番地1  
TEL:026-244-1608 FAX:026-259-2986

Email:aspec@ec5.technowave.ne.jp



ホームページ URL <https://kk-aspec.co.jp/>

# 高専ロボコン 2022 全国大会受賞報告

長野高専ロボコン指導教員 29期電気工学科 春日 貴志

2022年の高専ロボコンのルールは、ミラクルフライ～空に舞い上がれ～というテーマで、テーブルや筒に紙飛行機を着地させるルールです。10月に行われた関東甲信越地区大会に、長野高専からは、遊園地をモチーフとしたAチーム（信州ずくだせランド）と、鶴をデザインしたBチーム（鶴紙様）が出場しました。どちらのチームもアイデアやデザインに特化したロボットで、地区予選では得点は獲れず予選リーグで敗退してしまいましたが、Aチームがアイデア賞を、Bチームがデザイン賞を獲得しました。



その結果、関東甲信越地区の推薦枠でAチームが全国大会に出場し、Bチームはデザイン性や女子メンバーのチーム力が評価され、エキシビションで全国大会に出場しました。2チームともに全国へ出場したのは長野高専が唯一です。

全国大会は2022年11月27日に東京・両国国技館で行われました。Aチームは群馬高専と初戦で対戦し、1-16で敗退してしまいましたが、遊園地をモチーフとしたロボットのアイデアが高く評価され、文部科学大臣杯であるアイデア賞を受賞し、永岡文部科学大臣から賞状とトロフィーをいただきました。長野高専が全国大会でアイデア賞を受賞したのは初めてです。また、エキシビションで出場したBチームは、アルミで加工した鶴の投射機構から折り鶴を飛ばすパフォーマンスを披露し、会場を沸かせました。

2022年で8年連続の全国大会出場になり、4年連続で全国大会にて受賞することができました。日頃から同窓会にはロボット制作費の援助をいただき大変感謝しております。2023年は更に上を目指して頑張りますので、引き続き応援よろしくお願ひ申し上げます。



信州ずくだせランド (Aチーム)



鶴紙様 (Bチーム)

地区大会の様子：<https://youtu.be/9rDN6VlgaSA?t=1810>

全国大会の様子：<https://youtu.be/ENlzHxzEctU?t=955>

創ろう明日を。  
For the 信州 - 郷土を愛する心で -

松本駅アルプス口駅前広場詳細設計

建設コンサルタント  
**株式会社 長野技研**

橋梁設計・道路設計・構造物保全・地域計画・河川/上下水道

本社 / 〒390-1241 松本市大字新村2326  
TEL.0263-47-7677  
支店・事務所 / 諏訪市・飯田市・長野市

技術者を募集しています！

ホームページ URL <https://www.naganogiken.co.jp/>

## 長野高専 DE & I 推進へ向けて

長野高専客員准教授（株式会社コロプラ所属）

40期 電子制御工学科 5期 専攻科 生産環境システム専攻 藤澤潔

令和4年度より長野高専客員准教授に就任いたしました藤澤潔です。恩師の皆様とまたご一緒出来ること、母校へ恩返しが出来たことに感謝申し上げます。また、改めまして東京2020パラリンピックでは車いすバスケット男子日本代表へ沢山のご声援をいただき誠にありがとうございました。この場をお借りし心よりお礼申し上げます。



客員准教授称号授与式（2022年4月8日）

日本史上初の銀メダル獲得

という最高の経験の一つの区切りとし、競技引退後の現在は（株）コロプラにて世界を目指すアスリート支援や障害者雇用、サステナビリティ推進などの業務に関わりながら、普及活動やアスリートのセカンドキャリア確立へ向け日々奮闘しております。

さて、令和4年度は男女共同参画推進室の先生方にご協力いただき、ダイバーシティ(Diversity)、インクルージョン(Inclusion)、エクイティ(Equity)といった知識を深める特別講義を1学年・4学年・教職員の皆様へ実施させていただきました。講義後の学生アンケートからは、ダイバーシティやインクルージョンへの関心の高さがうかがえ、大変頼もしく、引き続き皆様と交流を深め、長野高専のDE&I推進へ努めてまいる所存です。また昨年は、堀内先生が主宰される「bitの会」、全国高専OBOGや関係者の皆様のコミュニティ「ヒューマンネットワーク高専」島田先生からもお声がけをいただき、高専ネットワークのつながり・ひろがりをお大変嬉しく感じた1年でもありました。

どうぞ今年度も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

### 株式会社竹花組

長野県佐久市望月で創業した竹花組は、総合建設業として土木・建築を主力事業としながら、生コン工場、アスコン工場といった建設関連事業を行いながら2022年に総業100年を迎えました。次の100年に向けて建設事業のICT化やBIMや働き方改革といった環境の変化に柔軟に対応できるよう取り組んでいます。


随時、キャリア採用を実施していますので職種を問わずご連絡下さい。

連絡先 384-2202 長野県佐久市望月30-1

☎0267-53-2345 mail: yo-kiuchi@takehanagumi.co.jp

竹花組HP <https://www.takehanagumi.co.jp/>



 株式会社 竹花組



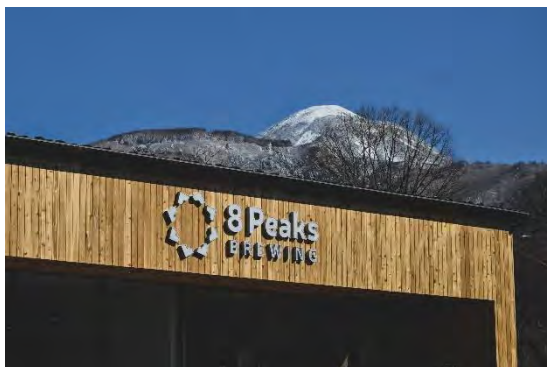
## 蓼科高原の新ビール工場稼働から地域経済に貢献する

株式会社エイトピークス代表取締役 44 期電気電子工学科 齋藤由馬

私は長野高専の電気電子工学科を卒業した後に、大手製薬会社に就職し上京しました。

会社員時代は東日本大震災直後の都市圏の混乱や、社会的な価値観の変化を目の当たりにしました。—それは、東北は震災から1年を経ても2年を経ても未だ復興はおろか復旧すらできていない事実から転じて、都市圏に働きに出てきている地方出身者が地元に戻って何か地域のために貢献できないか、といったような風潮というか雰囲気が出たことです。私自身、その後 会社を退職して長野県に戻ってきましたのも、そのような雰囲気が数あるきっかけの中の一つであったと今では思います。長野県に帰ってきた後は実家の家業である農業に携わりながら、醸造技術などの農業加工技術を学び、現在は長野県の諏訪地域、八ヶ岳の麓の茅野市でビールの製造を行う、株式会社エイトピークスという会社を経営しております。

今では茅野市の「若者に選ばれるまち」の実現に向けた産官学連携事業の研究員をさせて頂いたり、長野県～山梨県をまたぐ八ヶ岳山麓広域でビール原材料のホップの産地化を進めていたり、八ヶ岳から名前をお借りした8Peaks（エイトピークス）という名称を一般名称として普及させるために地域の事業者達で立ち上げた団体の運営や、商工会議所、観光協会の理事など、ビールの製造以外での地域との関わりも増えて参りました。



最近のトピックとして、諏訪地域の八ヶ岳エリアではコロナ禍をきっかけに県内外からの移住希望者が増えております。住宅の新築や既存住宅の売買、リノベーションが進み、不動産が非常に流動的です。それに連動する形で、カフェなどの店舗が新規出店していたり、地域内企業への就業希望者数が増えているなど、ポジティブな動きが多く散見されています。コロナ禍による経済的な冬は長かったです。冬が終わった先に次の春が巡って来るような、新たな経済活動の萌芽はすぐそこまで来ているのかもしれない。

地域の経済基盤は、その地域内に存在する名士たる企業ではなく、地域の企業で働き地域に定住している「人」でもっていると考えます。

地域内の消費金額に対し、地域内の定住人口でみると、全国平均で定住人口1人あたり年間約125万円

√D ルート設計株式会社 機械設計・制御設計 求む。人財！



〒386-1211 長野県上田市下之郷813-83 採用情報はこちら→  
TEL:0268-37-1570



社内技能アップ研修



URL:<https://root-design.securesite.jp>

が地域内に落ちるそうです。仮に人口1万人の自治体があったとすると、その地域の内需的な消費金額は125億円であるといえます。この人口が1%、100人減ると、地域内で回るお金が1.25億円減るため、少なくとも1~2件の事業者が撤退するのではないかと考えます。これにより、定住人口の減少と合わせて地域の事業者が撤退してしまう理屈が成り立ちます。

今日、地域内の経済基盤を目減りさせないために、どこの自治体も移住者を募っています。しかしながら、人生において移住・定住に繋がるほどの強制力を持つイベントは大まかに2つしかないのではないかと考えます。ひとつは就職によるものです。茅野市役所に就職したから茅野市民になる(なった)ということはよくあることかもしれません。

もうひとつは、自分が好きな土地に、自分で選んで納得して住むということです。こちらはほとんど観光がきっかけであると言えるのではないのでしょうか。たまたま旅行で行った土地の居心地が良く、そのまま居ついてしまったということもあるかもしれませんが、これも広義には観光が移住のきっかけであると言えると思います。従って、観光は地域外からやって来る交流人口に対し、外貨を獲得する手段であると同時に、移住者として定住人口を増やす手段であると考えます。

2018年に設立した会社も6期目を迎えました。現在、生産能力を底上げする目的で茅野市蓼科高原に新工場を建設中で、4月下旬より醸造設備の本格稼働を始める見通しです。その他、併設のショップもオープンする予定です。付近には蓼科湖と道の駅があり、近くには新たにキャンプ場も造成される予定です。



時代に合わせた、お客様が喜ぶ美味しいビールを造り続けることはメーカーとして大前提といたしまして、今後の展開では新工場の稼働を通じ、美味しいビールを造ることから半歩先の、八ヶ岳で美味しいビールを通じた「暮らし、過ごし方」にもコミットして参れたらと考えております。八ヶ岳でビールを通じた体験や過ごす時間そのものを価値化することで、地域の魅力を底上げし、わざわざ時間とお金を掛けてでも訪れたい、滞在する価値のある街になり続けることに貢献して参ります。

直営の店舗が無いことがうちの弱みでもあり、強みでもあります。これからも農業、商業、工業、観光業、行政の仲間やお客様、地域住民などのステークホルダーとともに共存共栄を図りながら、観光を通じ地域に定着する新たな仲間(移住者)を増やし、内需的・外需的な地域内の消費動線を創出しながら、末永い商売を目指し引続き精進を重ねて参ります。

プロフェッショナル&オンリーワンテクノロジーで『美と健康』を追求した商品作り



**TESCOM**  
テスコム電機株式会社



本社  
松本工場  
HPアドレス

〒141-0031 東京都品川区西五反田5-5-7 テスコム五反田ビル  
〒390-1242 長野県松本市和田4217-1

<https://www.tescom-japan.co.jp>



# 土の中の“いのち”に目を向けて

株式会社みみずや 47期電気電子工学 中條翔太

はじめまして、株式会社みみずやの中條翔太と申します。

現在、長野県飯綱町を拠点に地域創生に関わる会社を経営しております。

高専には、本科／電気電子工学科、専攻科／電気情報システム専攻と7年間お世話になりました。専攻科を修了したのち、重電機器メーカーで発電所や変電所に納入する機器開発に従事し、人々の生活には欠かすことのできない「あたりまえをつくる」仕事を国内外でしておりました。

2019年、長野県をおそった台風災害で変わり果てた日常を目のあたりにし、自然界のあたりまえとは何か考えるようになりました。同時に、生まれ育った長野県に何かできることはないかと移住を決意、2020年から、地域にたずさわる仕事をし、2022年に株式会社みみずやを創業しました。



運営している「廃校フィットネス Sent.」



農園でのとうもろこし生産。

社名の“みみず”は、あの土の中にいる“みみず”です。なぜ、“みみず”かということ人間よりも何億年も前から現代まで種をつないでいる、持続性のスペシャリストだからです。昨今、一日一回は耳にするサステナブル、持続可能な〇〇。“みみず”との対話をつうじて、その生命活動を知り、自身で表現できる人が増えれば、今の社会をより豊かに、持続可能なものにしていけるのではないか、そんな仮説をもって事業に向き合っております。

具体的には、①”みみず”に関わる事業と②地域に関わる事業をしております。①は単純に“みみず”と接触する機会をつくるべく、みみずコンポストの運営やグッズ販売をしております。②は閉校になった小学校、遊休農地、古民家など地域の資源を活用した事業に取り組んでおります。現在の仕事の大部分はこの領域ですが、旧小学校でフィットネスジムの運営や遊休農地をお借りして、



保安電設機器・設計・製作販売

**株式会社 ティオック**

当社は工事用 LED 電光盤の分野においてリーディング企業を目指し、お客様とのコミュニケーションを大切に考え、お客様に喜ばれる製品づくりとスピーディーな対応をモットーに活動を推進します。

■本 社 長野市青木島町青木島乙 850-1

TEL 026-283-5970 / FAX 026-283-5920

■福岡営業所 福岡県福岡市中央区高砂 1-14-11 kavka takasago 302

TEL 092-406-7601 / FAX 092-406-7607



URL <https://www.tiock.co.jp/>

他法人や個人の方々とコラボレーションした農園運営など、多角的なまちづくりに取り組んでおります。今年、二期目を迎え、事業の領域が広がりつつあります。一つの領域だけに向き合うのではなく、視野を広く持ち、産業をまたぐさまざまな問題や課題に向き合っていく所存です。より持続的な地域、社会の実現を目指し、日々地に足をつけて、一步一步前進してまいりたいと思います。

## 農業とIT

株式会社エポシステム 45期 電子情報工学科 佐伯幸平

私は平成24年3月に長野高専本科を卒業した後、長野高専の専攻科へ進み、そこで「農業×IT」の可能性に興味をもち、農業の知識と経営を身につけるべく長野県農業大学校実践経営者コースへ進学しました。

卒業後は地元富士見町にて、ブロッコリーの生産をメインに農業を個人事業として行いつつ、その一方で、長野高専時代に身につけたプログラミングスキルを使い、地元や東京の企業から請負で開発業務を行ってきました。



とりわけ開発業務においては、東京の企業様の開発パートナーとして各種顧客管理用ツールなどの開発をしてまいりました。その中で偶然転職活動中だった高専時代の友人を加え、平成31年に株式会社エポシステムとして法人を立ち上げ、現在では合計5名での開発体制となりました。

現状は、本来興味があった「農業とIT」を組み合わせたサービスの開発には注力できておらず、自社開発と受託開発のバランスに悩まされております。やはり会社を興すのは苦悩の連続で、現在でも色々なトラブルの中なんとか毎月綱渡りで生きているようなものです。

高専でもアントレプレナーシップ教育等が進められていたりすると聞いておりますが、起業する人自体は多くはなく、相談できる近しい人もそう多くはないかと思います。

しかしながら、社会人となると各種方面で活動する高専の仲間に相談できることはとても大きな財産だと感じます。高専での経験や知識を勉強できたこと、故郷で就農できたこと、高専の仲間と一緒に仕事できたこと、感謝しかありません。最終的にはどんな形であれ地元や長野、日本の農業に何か貢献できたらいいなと考えております。

最後に同窓生の皆さんのご健勝とご健康をご祈念申し上げ、ご挨拶といたします

現在8名の長野高専OG・OBが活躍中！

Chuo Constructional Engineering Research  
**CER 株式会社中央工研**

私たちは、時代のニーズに即応した建設コンサルタントを目指しています。  
未来を創る挑戦者として、意欲のある技術者を募集中です。  
ホームページまたは電話にてお気軽にお問い合わせください。

〒390-0852 長野県松本市大字烏立978-1 TEL:0263-47-8631/FAX:0263-47-8632

HP: <https://www.ccer.co.jp/>

## 同窓生社員からのメッセージ



技建開発株式会社 42期環境都市工学 水崎太貴（技術士：建設部門）

弊社は、長野県飯田市に本社を置く建設コンサルタントです。

本社（飯田市）の他に長野支店（長野市）、伊那支店（伊那市）、中信支店（茅野市）、北陸支店（金沢市）、名古屋支店、東京支店を開設しており、国、県、高速道路会社等の発注者支援業務等、施工管理業務実績が多いことも弊社の特徴です。

私は、長野支店に在席し、道路、橋梁、護岸等の設計業務を担当しています。社員数は現在約230名で、技術士他各種の有資格者が在籍しています。長野高専同窓生が9人在籍し、公共事業に関わる企画・調査・測量・設計業務等を担当していますが、電子情報工学科出身者において、地中レーダ探査に関わる研究業務や赤外線調査業務等も進められています。

社会基盤整備に関わる技術は、多分野の技術が融合して進化している状況にありますが、今後も新たな技術に果敢に挑戦する技術者集団でありたいと考えております。

同窓生各位のご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。



『未来に向かって誇れる仕事を』

## 技建開発株式会社

建設コンサルタント（測量設計・都市計画・インフラ点検業務及び発注者支援業務）

本社：長野県飯田市北方1313-2 電話番号：0265-52-0511

支店：長野支店・中信支店・伊那支店・北陸支店・東京支店・名古屋支店

会社HP: <https://www.gkc.co.jp>

E-mail: [eigyobu@gkc.co.jp](mailto:eigyobu@gkc.co.jp)



## 一般社団法人長野高専技術振興会

技術相談・共同研究・インターンシップ・各種講座（スキルアップ、学び直し等）の事業を行っています。2023年3月現在439社（企業、団体、個人）の会員様により運営されております。4月より本年度の各種講座を開催しますのでご利用ください。随時入会の受付をしております。

連絡先 長野高専地域共同テクノセンター内

☎026-295-7117 mail:nrtc71@nagano-nct.ac.jp

振興会 HP <https://www.nagano-nct.ac.jp/shinko/>



## 培った知識や技術を基に企業で活躍中

### NIKKi Fron グループ 広報

弊社はフッ素樹脂製品の設計・製造・販売を主力事業としており、長野の拠点を中心に滋賀、タイに製造工場、東京、タイ、ベトナムに販売拠点を構えております。フッ素樹脂は、耐熱性、絶縁特性、摺動性など複数の優れた機能を兼ね備えた耐久樹脂の最高峰であり、半導体製造や医療・医薬、自動車分野を中心に製品を供給しております。弊社に複数名在籍しているOBの内、製品設計部署2名、営業職2名の現在の活動についてご紹介させていただきます。

●29期(1996年)機械工学科制御コース卒、

営業部 部長 Mさん

高専で設計や工作の基礎と応用を学んだ経験を活かし、弊社に新卒入社してから技術、製造、企画、営業と各部門で実績を積んでいきました。現在はソリューション営業部門を統括して、フッ素樹脂関連の工業製品、シール製品を幅広いお客様にお届けしています。

●39期(2006年)、機械工学科卒、営業・貿易管理 課長 Sさん

学生時代、モノづくりの授業や実験を通して、物事を論理的に考える基礎を身に着けました。また卒業後独学で身に着けた英語力を武器に、現在は運営側の視点で効率良く収益を上げる為の、海外生産拠点の立ち上げ、国内外への販売促進を行っております。仕組み作りなど様々な業務に高専での経験を活かしています。

●42期(2009年)電子制御工学科卒、44期(2011)専攻科 生産環境システム専攻 修了、

設計企画 主任 Yさん

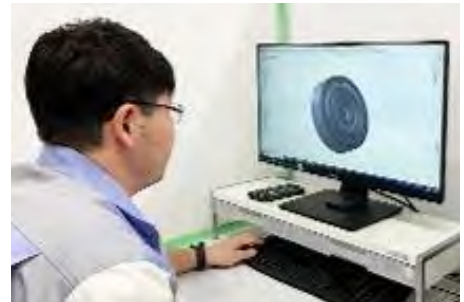
フッ素樹脂製品の設計責任者として製作方法検討、客先への設計提案や課題解決のための打ち合せ、試作など、客先を交えた様々な調整を主に担当。学生時代のレポートやプレゼン作成の経験から、人に正しく情報を伝える事や、課題に対して目的と対策、原因と結果を紐づけ論理立てて考える事を常に意識しながら業務を行っております。

●45期(2012年)機械工学科卒、47期(2014年)専攻科 生産環境システム専攻 修了、

設計企画 サブリーダー Mさん

フッ素樹脂製品の製作図面作成、加工プログラム作成、新規製品立ち上げなど、製造現場との調整を主に担当しています。SOLIDWORKS(3DCAD)や製図、数学、物理、材料力学など、高専で身に着けた知識を発揮しています。卒業研究および専攻科では、まさにフッ素樹脂を研究テーマにしており、現在の業務にもその経験が活かされています。

培った知識や技術を基に、それぞれの得意分野や業務内容へと活かしグローバル競争に打ち克てる「技術ブランド N i K K i F r o n」を目指して日々、取り組んでおります。



設計企画 サブリーダーMさん 業務風景



**NIKKi Fron**  
Since 1896

半導体産業を支える耐久樹脂の最高峰  
フッ素樹脂の設計・製造・販売

〒381-0003 長野県長野市穂保409-2  
TEL: 026(296)9031  
拠点: 長野/滋賀/東京/バンコク/ホーチミン



www.nikkifron.com

# グローバルに、より良い技術を探求する

株式会社マップエレクトロニクス 31期電子制御工学科 柳澤 純一

長野高専卒業後、県内の電機メーカーにて約15年、主に生産技術の立場でモノ作りの開発から量産するまでのプロセスを担当していましたが、2012年に上田市にあるマップエレクトロニクスに中途入社して現在に至ります。

弊社は電子部品の輸入販売を行う技術商社です。商社というと、他社から仕入れた製品を販売するだけの仕事のように思われるため、製造メーカーとはまったく違う業種のようなイメージがあり、私自身も転職時には少々不安もありました。しかし、弊社のお客様は日本国内の産業機器、医療機器メーカー様がほとんどです。お客様のご要望や課題に対し、私自身の経験やモノづくりの一連のプロセスについての知識はとても現在の仕事に役立っています。



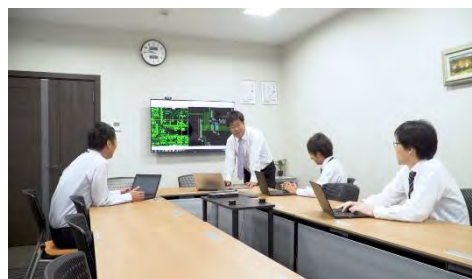
ホームページはこちらから



弊社で取り扱う製品の中で、最近ではリチウムイオンバッテリーと充電器が多くなっておりませんが、弊社は単なる電子部品の商社ではなく、お客様ごとにカスタムが必要なデバイスや機器の開発を行い、製品の製造は国内や海外の協力会社にアウトソース（ファブレス）しています。これにより製品の特性とマッチした技術、生産ラインを持つ工場を柔軟に選択することが出来るというメリットと、さらに世界情勢や市場のトレンド変化に合わせてスピーディに事業の方向性を変える事が可能です。

そんな会社で、現在の私の担当業務は、取引のある海外メーカーの工場監査や、新製品の量産立ち上げ、製品の市場品質問題のトラブルシューティングがメインですが、これまでは開発案件の担当やISO等のマネジメントシステム構築、認証取得や、法令・安規の管理など幅広く担当させていただき、現在はBCPの策定も手掛けています。まだまだ大きな会社ではないので、業務も多岐に渡るため忙しい毎日ですが充実感があります。

また、ここ数年猛威をふるっていたコロナ禍による行動制限もようやく緩和されてきたため、早速今年1月から仕入先の海外メーカーに監査や打ち合わせのため台湾出張に行ってきました。コロナにより社会の仕組みまで大きく変わった中でWEBでの打ち合わせが増えてはおりますが、現地・現場でコミュニケーションをとることも重要で、問題点や改善点などの現状について身を以て感じる事が出来ます。この数年はコロナの他に市場の材料、IC等の不足や物価や燃料等の高騰、為替の影響もあり製品コストなども大きく変化しております。今後のトレンドや世界の動向を見極め、自分自身が日々アップデートしていく事はもちろんですが、会社としても今後10年20年と変化、成長できるような体制を目指していく方針です。



## 株式会社マップエレクトロニクス

リチウムイオンバッテリーをはじめ、充電器、ACアダプター、LCD、アンテナ、無線モジュールなどの取り扱い製品について今までに蓄積してきた豊富な知識と専門的な技術力で、仕様検討から設計・開発・試作・量産までトータルにサポートを行います。弊社にご興味のある方はぜひご連絡頂けると幸いです。

連絡先 株式会社マップエレクトロニクス

☎0262-76-5202 mail: [j-yanagisawa@mapele.co.jp](mailto:j-yanagisawa@mapele.co.jp)

弊社 HP <https://mapele.co.jp/>



## 2022 年末で退官された先生方からメッセージをいただきました

### 「お世話になりました」

一般科（数学） 小林茂樹

長野県の高校の数学教員とし 14 年間勤めた後、長野高専に採用されて現在に至りました。授業については、色々やってみましたが、上手くはいきませんでした。担任としても、至らない点が多々あったと思います。部活ではいくつかの部にかかわりました。感動の場面にも立ち会えてとても良かったのですが、焼肉を奢ると言っていてまだ果たせていません。また、いつも仕事が遅くて迷惑をかけたと思います。それでも教師として現在まで働くことができたのは、周りの先生方、職員の方々、とりわけ学生さんたちのおかげです。本当にありがとうございました。内地研究に行かせていただいたり、木更津高専で勤務させてもらったり、長野高専に来てから色々経験させていただきました。幸せです。

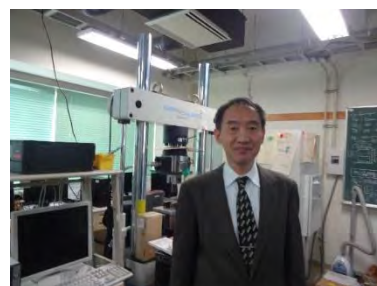
4 月からは、再雇用職員（月曜日から木曜日まで）として、長野高専でお世話になります。高専も進化していくようです。私も進化しないといけないなと思います。今後ともよろしく願います。



### 「意志の上にも五年」

機械ロボティクス系（機械工学科） 長坂明彦

「自 1993 年（平成 5 年）4 月 1 日から 30 年間、長野高専にお世話になりました。2023 年（令和 5 年）3 月 31 日付けを持ちまして、長野高専を 63 歳で定年退職いたしました。5 年間の教員採用試験を経て長野県の工業高校に 8 年間教員として勤務後、長野高専機械工学科に助手として 33 歳の時に採用していただき、5 年間の助手時代を経て、1999 年（平成 11 年）9 月 30 日に 5 年間の研究で学位取得となり、その後専攻科がスタートいたしました。



美しく、安全な境界線  
セキュリティゲート専門メーカー Halcon

高専卒業生も活躍中！  
技術営業職  
製造職 募集中です

Halcon 日本ハルコン株式会社  
ハルコンテクニカルサービス株式会社  
ハルコンAP株式会社

佐久市三河田 403-5  
TEL 0267-63-1151  
<https://n-halcon.co.jp>

また、サッカー部の指導教員も30年間となりましたが、監督時代にPK戦の末、全国高専大会に出場できた瞬間、感涙しました。「石の上にも三年」という努力はむくわれるということわざは、私には「意志の上にも五年」であったかもしれません。

定年退職後は、再雇用でお世話になります。これまで38年間の教員生活での多くの出会いの中で、私を支えていただきました皆様に感謝するとともに、長野高専の発展を心よりご祈念申し上げます。ありがとうございました。

## 退職のことば

機械ロボティクス系（電子制御工学科） 鈴木伸哉

「自分のやりたいことは何？」という問いは、若い現役の高専生だけではなく、私にもずっとある大きな「問い」でした。これまで、自分のやりたいことに答えを出してきたつもりでしたが、確信を得たのはこの6、7年ぐらいです。今になって思えば、それまでは、自分のやりたいことが、やや不明確でした。

私のやりたいことは何かというと、幾何公差という分野の専門家になることです。S科やM科で勉強している機械製図のその先の分野です。製図規格というのは石のように固まった存在ではなくて、今も、ISOやアメリカで活発に開発されつづけています。私は、来年度から、その分野を専門としている人の下でさらに学びを深めて、いずれその分野を継承します。

しかし、何かを得ようとすることは、何かを失うことでもあります。最後の1年は、寂しさのようなものを感じながら過ごしていました。でも、裏を返せば、高専で過ごした日々が、私にとって最高のものだったということも分かりました。

11年間お世話になりました。ありがとうございました。



カタチ  
アルミ鋳造×切削加工で どんな製品もつくりあげる

 **yoshida**  
吉田工業株式会社

■本社グリーンヒル  
佐久市望月内匠2166番地1 TEL:0267-53-2151 FAX:0267-53-5828  
■佐久平プラント  
佐久市長土呂793番地13 TEL:0267-54-8371 FAX:0267-54-8372



<http://yoshidanet.com/>

## 卒業生としての研究報告～長野高専で身につけた研究者としてのスキル～

奈良先端科学技術大学院大学 52期電気電子工学科 北澤太基

このたびは、卒業生の一人として私の近況について報告させていただきます。高専時代において、私は電気電子工学科を卒業後、専攻科に進学し、環境電磁工学の分野で研究に励んでいました。特に、専攻科在学時には、春日研究室に所属し、高速化・高周波化が進む近年の電子回路基板の3次元電磁界シミュレーションの開発に関心を持って研究を進めていました。この経験が、現在の私の研究活動の土台となっています。

卒業後は、奈良先端科学技術大学院大学 (NAIST) に入学し、2023年度からは博士後期課程に進学する予定です。現在は情報通信機器におけるハードウェアセキュリティについて研究をしています。「セキュリティ」と聞くと、上位レイヤにおけるセキュリティのイメージを有する方が多いと思いますが、物理層におけるセキュリティ確保の重要性も高まっています。近年の計測器の高精度化・低価格化、計算機の高速度化と記憶装置の大容量化に伴い、従来では技術的に困難だった高度な攻撃の脅威が増大しており、こうした脅威は軍事・外交分野のみならず一般的な商用製品へと拡大しています。現在の研究においても、長野高専で学んだ知識・経験が大変役立っており、最近では、電子情報通信学会の学術奨励賞を受賞することができました。この賞は、主に若手研究者の成果を評価するもので、電子情報系の研究者としては登竜門とされており、私の研究が評価されたことを嬉しく思います。

さらに、長野高専と NAIST 修士課程での研究成果や今後の研究計画などが評価され、日本学術振興会の特別研究員 (DC1) に採択されることができました。この DC1 の制度は、卓越した研究者を支援するために設けられたもので、私にとって大変名誉なことです。今後は、DC1 の名に恥じぬよう、更なる研究成果を挙げていきたいと考えています。

卒業生の一員として、私自身が学んだことに感謝しつつ、長野高専の発展に少しでも貢献できるよう、今後も積極的に取り組んでまいります。また、在学時に所属していたバスケットボール部の経験から学んだコミュニケーションやリーダーシップなどのスキルも、今の研究活動において大いに役立っていることを感じております。長野高専には、私のような学生に対して、研究において必要な知識や技術を幅広く提供してくれる教育環境が整っており、これから多くの優秀な人材を輩出していくことに期待しております。

このように、私の近況を報告すると同時に、長野高専での学びや経験が今の研究分野において大きく役立っていることを伝えたいと思います。今後も、長野高専の発展に寄与することができるよう、精進してまいります。



電子デバイス・電子関連機器に関する技術及び製品開発をサポートする

総合ソリューションカンパニー

 SHIIMA

シーマ電子株式会社

● 設計・試作・評価センター

山梨県韮崎市龍岡町下条南割995番440  
TEL: 0551-23-0642 FAX: 0551-23-0644

● 本社

神奈川県横浜市中区花咲町二丁目82番地  
貞華ビル  
TEL: 045-260-1530 FAX: 045-260-1535

🔍 採用サイト

<https://recruit.shiima.co.jp>





# 2021 年度同窓会決算報告

会計担当 北條 晴義 (38 期 機械工学科)

令和 4 年 6 月 25 日に開催されました総会にて監査報告され、承認されましたのでご報告いたします。

## ■一般会計

### 収入の部

科 目	令和3年度 予算額	令和3年度 決算額	増 減	令和4年度 予算額
前年度繰越金	3,920,207	3,920,207	0	4,213,528
会費 (ゴールド会費含む)	2,170,000	2,136,370	-33,630	2,180,000
広告収入他	130,000	90,035	-39,965	110,000
合計	6,220,207	6,146,612	-73,595	6,503,528

### 支出の部

科 目	令和3年度 予算額	令和3年度 決算額	増 減	令和4年度 予算額
事務諸経費 (会費含む)	1,370,000	1,109,484	-260,516	1,370,000
クラス幹事活動費	200,000	10,220	-189,780	200,000
慶弔費	50,000	76,720	26,720	50,000
同窓会行事経費	1,200,000	736,660	-463,340	900,000
予備費	3,400,207	0	-3,400,207	3,983,528
合計	6,220,207	1,933,084	-4,287,123	6,503,528

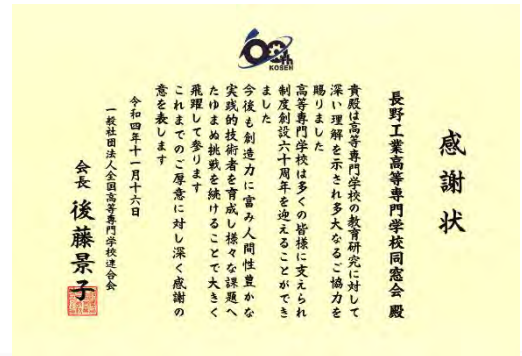
## ■同窓会基金

収入の部	支出の部	差引残高
8,079,833	0	8,079,833

## 同窓会からのお知らせ

### ○全国高等専門学校連合会から同窓会へ感謝状

2023 年 2 月に、高専制度が始まって 60 年を記念して、これまでの同窓会の学校への協力に対して全国高等専門学校連合会から感謝状が贈られました。(贈呈式後、写真左から北山理事長、小河原会長、横沢副会長)



## アピックヤマダ株式会社【ヤマハ発動機グループ】

半導体製造に欠かせない“モールド工程”における装置や金型を、開発から設計・製造・販売まで一気通貫で行っています。2019年にヤマハ発動機(株)のグループ会社となり、コア技術を活かした積極的な技術開発や、グループシナジーによるモノづくり改革を進めています。

連絡先 アピックヤマダ株式会社 企画部

担当 ☎026-276-8251 担当mail:tsuchidot@yamaha-robotics.com

会社HP <https://www.yamaha-robotics.com/corporate/outline/apicyamada>



## ○土木・環境同窓会が3年ぶりに開催されました

土木・環境同窓会では毎年秋に同窓会を開催し、例年多くの卒業生が集まりますが、2019年の台風災害以後、コロナ禍もあり3年間開催が見送られてきました。2022年11月に3年ぶりに対面での同窓会が開催されました。年次総会開催ののち、本科同窓会長も来賓としてお迎えし、100名を超える規模での懇親会が開かれました。その様子が土木・環境同窓会のホームページに掲載されています。ぜひご覧ください。

土木・環境同窓会のホームページ URL <https://www.nagano-nct.ac.jp/eu/ob/>

## ○同窓会より、ゴールド会員を募集しています

50歳以上の会員の皆様には、同窓会をバックアップして頂きたく、ゴールド会員（会費：2万円）への就任をお願いします。就任して頂きますと、小山田いく氏（田上勝久氏（10M））デザインのゴールド会員証をお送り致します。また、同窓会総会における懇親会費を割引させていただきます。

「ゴールド会員」登録申し込み方法 **口座記号番号 00520-9-93286 長野工業高等専門学校同窓会** まで、「ゴールド会員費として」と通信欄に明記して頂き、終身会費20,000円を郵便局よりお振込みください。後日会員カードを発送させていただきます、カードの発送をもって会員への登録とさせていただきます。

以下は本年度の理事からのお願いです。

本年度は1期から27期までの卒業生を対象にしてご協力をお願いします。同窓会の運営は主に入学時皆様の親御さんからの入会金で賄われてきました。考えてみると自分自身で稼いで会費を納めてないことに気が付き、卒業30年を迎える50歳以上の皆様に同窓会活動にご理解とご支援を頂くうえで「ゴールド会員」制度を設けました。会費は20,000円で終身会費です。是非登録いただき高い視点から母校の発展、同窓生同士の活発な交流ならびに同窓会へのご支援をお願い申し上げます。

## ○所属の変更、転居などがありましたらお知らせ下さい

所属や連絡先の変更がある方は事務局までお知らせ下さい。ご協力宜しくお願い致します。会員情報（卒業期・氏名・住所・電話番号・勤務先・勤務先電話番号・E-mail）につきましては、同窓会誌の送付、総会など同窓会行事のご案内、長野高専が実施する事業（アンケート調査）、同窓会員名簿の作成に利用させていただきます。同窓会員名簿に個人情報の掲載を希望されない方、同窓会だよりの送付を希望されない方は、同窓会事務局までご連絡下さい。ご連絡のない方につきましては、同意されたものとさせていただきます。

## ○同窓会(クラス会)開催の際はご一報下さい

同窓会(クラス会)や、クラブのOB会などを開催する(した)場合には同窓会事務局までご一報下さい。同窓会だよりに会の様子を是非ご投稿下さい。原稿をお寄せいただきますと、活動費1万円を差し上げます。

## ○同窓会だよりへの広告を募集しています

同窓会だよりに広告を協賛金10,000円にて承っています。ご希望の方は同窓会事務局までご連絡ください。本年度もたくさんの企業様のご協賛をいただきました。御礼を申し上げます。

## ○同窓会だよりの記事を募集しています

同窓会の皆さんへ発信する情報(記事)を募集しております。同窓会事務局までご相談ください。

**同窓会事務局** 担当：31期土木工学科 酒井美月

電話 026(295)7103 Mail [info@nnct-doso.net](mailto:info@nnct-doso.net)

## ロンズデザイン株式会社

プリント基板の設計に、困りごとはありませんか？

- 外注化したい
- 性能を向上したい
- 基板から発生するノイズや熱などに困っている
- 特殊な基板の設計経験がある会社を探している

多種多様な経験のある、ロンズデザインにお任せください



本社 長野県長野市南長野南石堂町1972番地  
エスタシオン長野ビル302号  
(JR長野駅 善光寺口 徒歩3分)  
TEL 026-217-8688  
mail: [koike@lonz-design.com](mailto:koike@lonz-design.com)

## ○同窓会だより読者プレゼント

同窓会だよりをご愛読いただき、誠にありがとうございます。さて、この度、みなさまからの貴重なご意見やご感想に感謝の気持ちを込めまして、協賛企業様から提供された素晴らしい品々を抽選でプレゼントすることになりました。

下記の URL より応募してください。応募フォームにアクセスできます。応募締切は5月31日(金)です。お早めにご応募ください。

抽選は6月24日(土)に行われる同窓会総会にて行い、当選者を発表します。

当選された方には、協賛企業様から直接プレゼントをお届けいたします。

商品の発送にあたり、当選者の個人情報(お名前、ご住所、電話番号、メールアドレス)を協賛企業に提供することがあります。なお、お預かりした個人情報は、商品の発送に関する目的以外に使用することはありません。

同窓会だよりの感想への URL <https://forms.gle/8xhuEsk1e1xMD2gGA>

読者プレゼント ①  
株式会社エイトピークス様より、これからの季節どうぞ、ハッ火山麓で醸造された2本セットのビール10名様



読者プレゼント ②  
みみずや様より、おいしさをぎゅっと詰めました! 飯縄山麓で大切に育てられたブランド米300gを5名様



## 2023年度 長野高専同窓会総会のご案内

2023年度の総会を下記の日程にて開催します。今回は3年ぶりに対面での実施となります。参加される方は右のQRコードまたは下記のURLからアクセスいただきフォームからお申込みください。新しく建設された国際寮(桜風寮)、改修された電子情報工学科棟など、ぜひ現地でご覧ください。総会の様子はzoom使って遠隔配信しますので、オンラインでも参加可能です。オンラインでの参加を申し込まれた方には6/10までにzoomのIDなどの情報をお送りします。

2019年度まで、同窓会総会は卒業40周年記念同期会との同時開催を実施していましたが、コロナ禍において13期生、14期生の方には学校にお集りいただくことが出来ませんでした。

今年度卒業40周年を迎える15期生の皆様とあわせ、13期生、14期生の皆様もこの機会に記念同期会を開き、母校へ足をお運びいただければと思います。

日時: 2023年6月24日(土) 13時30分

次第: 総会 13時30分 地域共同テクノセンタ・セミナー室で開催

zoom配信によりオンライン参加可能

参加申し込みフォーム URL: <https://forms.gle/mkpKqEWdVQ5u87gY7>



なんでもご相談ください  
皆様をサポートいたします

## 株式会社 奥山工機

〒381-0017 長野県長野市小島429-1

TEL 026-243-4567

FAX 026-243-7850

各種産業機械・工具・伝導装置・伝導機器

物流機器・計測機器・各種研究素材

食品製造機械機器・省エネ機器・etc



## 編集後記

本年度より同窓会だよりが電子化されました。同窓生をはじめ多くの皆様に記事の執筆をいただき感謝申し上げます。また、長野高専技術振興会会員企業様におかれましては本誌へのご協賛をいただきありがとうございます。本年度は4/5に入学式が行われました。学科が再編されて2回目の入学式です。昨年度入学した学生はそれぞれの学ぶ学科を決め、この4月から新しい学びが始まっております。現在の学生が学ぶ高専の風景を写真に収めましたのでご覧ください。なお、バスの写真は、昨年度から始まった松本からのスクールバスです。中信地区からの新しい通学の手段として定着しつつあります。



左より、皆さんが体育の授業でマラソンを楽しんだ徳間コースから図書館及び豊野方面の眺めです。



校舎より南側を望んでいます。北陸新幹線が通り、アップルラインへ抜ける幹線道路ができています。

# 長野高専基金

—ご支援のお願い—

「長野高専基金」は教育・研究・地域貢献活動、修学のための支援及び国際交流の推進等に資することを目的に、平成30年度に創設し、ご支援いただいた寄附を基金として積立て、本校の教育研究等の発展のために活用させていただくものです。下記の支援などに活用をしています。

【 学生 支援 事業 】 全学的な教育・研究・地域貢献、施設整備等  
留学、教員の海外派遣等、国際交流事業等

【 修学 支援 事業 】 本校学生に対する奨学金給付、海外留学等への支援  
長野高専基金ホームページ <https://www.nagano-nct.ac.jp/fund/>